

7.4 会議録

学会や学術団体協会などが開催する会議では、発表論文集、講演集などの会議録が発行されます。会議録には、書名に開催年や地名、〇〇th, 〇〇回などの開催回数などが、また外国のものには conference, proceedings, meeting, workshop などの会議を表す言葉が付いています。国際会議の場合、図書、雑誌の特集号 (Special Issue) 別冊 (Supplement) などで発行される場合があります。さらに、会議録は参加者のみに配布される場合もあり、年数が経つと入手し難くなることもあります。

会議録の検索は、次のデータベースで調べることができます。

J-STAGE 科学技術情報発信・流通総合システム http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja	科学技術振興機構 (JST) が提供する電子ジャーナルの発行、公開システムです。国内の科学技術関連の学協会誌、会議録、報告書などを電子化し、抄録や全文をインターネット上で公開しています。
---	---

会議録は、図書または雑誌として取り扱う可能性が高いようですが、図書と雑誌、どちらとも判断できるものが多いため、所蔵を調べる際には両方とも検索しましょう。また、参考文献はさまざまな書かれ方で記載されているため、書名をそのまま入力すると見つからないこともあります。その場合は、会議の主催団体・団体名で検索する方が確実です。会議録は、国立国会図書館や科学技術振興機構でも多く収集されています。

NDL-OPAC http://opac.ndl.go.jp/	国立国会図書館の蔵書検索システムです。国内会議録のほか、欧文会議録も多く所蔵しています。
JST 資料所蔵目録 http://opac.jst.go.jp/	科学技術振興機構の資料目録検索システムです。全科学技術分野を対象に世界各国から収集された会議資料等のデータを検索することができます。

また、学協会によってはインターネットで公開している場合もありますので、検索エンジンなどを使って調べてみましょう。学協会の総合的な情報は次のホームページで見ることができます。

Academic Society Home Village 学協会情報発信サービス http://wwwsoc.nii.ac.jp/	国立情報学研究所が提供するサーバに学協会等の学術研究情報を収集し、インターネットへ発信するサービスです。
---	--